

単元名 (参考単元) 墨と水から広がる世界(絵)

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 墨と水からできる形や色の特徴を理解し、工夫して絵に表すことができる。  
 (2) 筆や刷毛などの道具で試してできた形や色から、表したいことを考えるとともに、自分や友達  
 の作品から、自分の見方や感じ方を深めることができる。  
 (3) 墨と水で和紙に形や色を試しながら、主体的に絵に表す活動に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

06080304\_001

【準備等】和紙（数種類の大きさ）、新聞紙、墨汁を入れる皿、刷毛、スポイト、墨汁、筆、文鎮、筆洗、  
 割りばし、雑巾、彫刻刀、消しゴム

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 教科書の参考作品を見て、学習課題をつかみ、墨と水で和紙に表現する。          ○参考作品を見て、課題をつかむ。</p> <p>★墨と水から生まれるさまざまな形や色を見付けよう</p> <p>○筆や刷毛の動かし方、水の含ませ方を示範し、試しがきする。          ・すばやく動かす、ゆっくり動かす          ・濃淡の変化          ・リズムの変化</p> <p>○墨を垂らしたり、にじませたりして生まれた形や色から表現したいテーマをもち、絵に表す。</p> <p>3 友達の作品を鑑賞する。</p> <p>○作品への思いを作品カードに記入する。          ○友達の作品のよさを話し合う。          ・にじんだ形が花びらのように見えます。          ・濃い墨で、筆を素早く動かしているので、勢いがある          て力強い線になっています。          ・光を通して見てみたいです。</p>	<p>・教科書5・6下 P.10, 11</p> <p>・筆や刷毛の動かし方、濃淡の変化、いろいろな道具でかいていることに気付かせる。          ・にじみやかすれ、墨の濃淡意外にも、墨を垂らしたり、筆を素早く動かしたりして、表現の幅を広げるよう促す。          ・水に墨を足して濃さを調整させる。          ・大胆な表現をさせるためにも、墨で汚れてもよい服装に着替えさせておく。          ・筆先の表現で終わせられないように、体全体でかかせる。          ・筆以外にもスポイトや割り箸を使わせても面白い。          ・画材としてさまざまな道具を用意しておく。</p> <p>・教科書5・6下P.56～57を参考にさせるとよい。          ・班で活動させるなどして、表現の工夫の仕方を見たり聞いたりできるようにするとよい。          【評】筆や道具を活用しながら表す活動を通して、「知識・技能」を評価する。          ・試した墨のよさや楽しさを組み合わせるとよい。          ・かきたいものに合わせ、紙の大きさを選ばせてもよい。          ・完成した作品には、消しゴムに彫刻刀で名前を彫り落款にしてして押印させる活動も考えられる。          【評】墨の効果を生かして自分の表したいことを考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。          ・いろいろな表現方法があることに注目させる</p> <p>・お互いの作品に題名を付け合い、どうしてそう感じたのか話し合わせるとよい。          【評】自分や友達の作品を鑑賞し、表現のよさや面白さを感じ取る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。          【評】これまでの学習活動や作品を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

## 【 備 考 】

特別の教科道徳との関連について

「C- (17) 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと」と関連が深い。墨を使った表現は日本の伝統的な表現方法であり、実際に経験することで伝統と文化をより一層大切にしようとする気持ちが育まれる。